

瀬戸内町

第188

令和5年  
3月発行

# 議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地



令和5年1月6日 消防出初式

## Contents

こんなことを決めました	2P
各常任委員会の活動状況	4P～5P
7名の議員が町政を問う	6P
編集後記	14P



上の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると町議会の動画にリンクします。

# こんなことを決めました！

## 第4回臨時会

11月4日

第4回臨時会では、予算議案1件を審議し、可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

●令和4年度一般会計補正予算(第6号)  
 主な要因は、歳出で民生費に132,400千円、商工費に87,300千円をそれぞれ追加したこと。  
 歳入で地方交付税に40,045千円、国庫支出金に179,655千円をそれぞれ追加したことによるものです。

補正予算

### 令和4年第4回瀬戸内町議会臨時会(11月4日)議案・議決結果

賛成 ○ 反対 × 欠席 △ 議長は採決に加わりません

議案番号	件名	議員名(議席番号順)										議決結果
		泰山祐一	福田鶴代	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	中村義隆	岡田弘通	安和弘	
90	令和4年度瀬戸内町瀬戸内町一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決

## 第4回定例会

12月6日～8日

第4回(12月)定例会では、予算議案11件、契約議案1件、条例議案7件、その他議案2件の計21件の議案を審議し、それぞれ可決しました。主な議案の要旨は次のとおりです。

●職員(の定年等)に関する条例の一部改正について  
 令和5年4月1日から令和13年3月31日の期間での国家公務員の定年引上げに伴い、地方公務員の定年も60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引き上げられることを踏まえ、地方公務員についても国家公務員と同様に取り扱いとともに、役職定年制の導入、定年前再任用短時間勤務制の導入、情報提供・意思確認制度の新設等の措置を講ずるため本条例の改正をするものです。

条例の改正等

●令和4年度一般会計補正予算(第7号)  
 主な要因は、歳出で商工費、教育費(小学校費)、歳入で財政調整基金繰入金、公共施設維持管理基金繰入金を追加したことによるものです。

補正予算

町長等の給与等に関する条例等の一部改正について

● 人事院勧告により国家公務員の給与法の一部改正が行われたことに伴い、町長等の給与等に関する条例、及び議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を国に準じて改正するものです。

教育委員会委員の任命について

● 本議案は、令和4年12月23日に任期満了を迎える「丸内 弥生」氏の再任について同意を求めるもので全会一致で同意しました。

監査委員の選任について

● 地方自治法第196条第1項の規定により、議会議員の中から全会一致で「池田 啓一」氏を選任しました。

令和4年第4回瀬戸内町議会定例会（12月6日～12月8日）議案・議決結果

賛成 ○ 反対 × 欠席 △ 議長は採決に加わりません

議案番号	件名	議員名（議席番号順）										議決結果
		泰山祐一	福田鶴代	永井しずの	柳谷昌臣	元井直志	池田啓一	向野忍	中村義隆	岡田弘通	安和弘	
91	令和4年度瀬戸内町一般会計補正予算（第7号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
92	令和4年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
93	令和4年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
94	令和4年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
95	令和4年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
96	令和4年度瀬戸内町屠畜場事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
97	令和4年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
98	令和4年度古仁屋港上屋事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
99	令和4年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
100	令和4年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
101	令和4年度瀬戸内町水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
102	道路改良（交付金）工事（薩川工区）請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
103	職員の定年等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
104	職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
105	町長等の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
106	職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
107	瀬戸内町会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
108	瀬戸内町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
109	瀬戸内町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	原案可決
110	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	同意
111	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	同意

※監査委員の選任について、選任される議員は採決に加わりません

## 総務経済常任委員会では、こんな調査をしています！

「ブルーカーボンに関する調査」及び「ドローン実証実験事業に関する調査」について  
 総務経済常任委員会の先進地視察を令和5年1月30日～2月2日の日程で長崎県五島市へ伺い  
 ました。これを基に今後、町政策に提言していきます。

◎五島市未来創造課によるゼロカーボンシティに向けた取組みの説明



◎ブルーカーボンに関する調査 ・五島市水産課による事業説明及び崎山地区での現地視察



◎ドローン活用についての調査

そらいいな株式会社での運用状況（医療機関向け医薬品、個人向け日用品・食品の配送）  
 飛行機型ドローン 落下傘による投下



離陸は発射台を使用



着陸はワイヤーでの回収

## 文教厚生常任委員会では、こんな調査をしています！

### ◎水道施設に関する調査

令和4年10月18日と11月16日に14集落を訪問し、集落水道に関する聞き取り調査を行いました。今後の活動としては、先進地視察等を通して町政へ提言していきます。



### ◎古仁屋小学校・中学校への訪問

11月17日には、古仁屋小学校と中学校を訪問し、児童生徒の様子・タブレット授業等の特色ある教育活動を拝見し、今後の本町教育行政の活性化、推進について学校職員（管理職）及び教育委員会担当者との意見交換会を行いました。



# 7 人の議員が一般質問

定例会第2日目、3日目に一般質問が行われ、  
7人の議員が町政について質問しました。  
通告順（発言順）に掲載します。

7 p	<b>安 和弘 議員</b> ●町政について ●過去2期の町政全般について
8 p	<b>柳谷 昌臣 議員</b> ●町内の環境整備について ●DX推進について
9 p	<b>永井 しずの 議員</b> ●「瀬戸内町」が協定を結んでいる企業の役割 ●せとうち海の駅の活性化について他
10 p	<b>福田 鶴代 議員</b> ●子育てについて ●医療福祉について他
11 p	<b>岡田 弘通 議員</b> ●行政改革について ●ふるさと納税について
12 p	<b>池田 啓一 議員</b> ●観光産業の振興対策について ●海上自衛隊の拡充について
13 p	<b>泰山 祐一 議員</b> ●人口対策について ●清水文化スポーツ村構想について

一般  
質問

私はここが聞きたい！  
町政を問う

一般質問とは

一般質問とは、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

また、質問に対する答弁書が作成され一般質問の後、それぞれの議員へ配布されます。

質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

ただし、一般質問に対する関連質問は、許可されていません。

町政全般

安議員 — 町政について

町長 — これまでの取組みを継続していきたい



安 和弘 議員

町政について

安 人口減少が止まりません。現在、瀬戸内町が抱えている最も大きな問題がこのことでしょうか。歴代の首長が取り組んできましたが果たせませんでした。難しい事ですが、町長のこれからの取り組み方を教えて下さい。

町長 本町の人口減少対策としては、これまで、第1期、第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、住宅、雇用の確保、子育て支援等の対策を行って参りました。

町長 これらの支援対策、また、せとうち創生マニフェストに掲げた諸施策を着実に実施することで人口減少対策に努めて参りました。

町長 令和2年度に策定した、「第2期瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において年間10組の移住者の実現で人口減少のスピード緩和の為に独自推計を掲げておりますが、令和3年度において目標を達成し、移住相談件数もかなり増加していることから、これまでの対策の効果が少しずつ表れてきているのではないかと思っております。

過去2期の町政全般について

安 町長は町民にとって、どういう存在であるべきと考えますか。

町長 町民にとって町長はどのような存在か、どうあるべきかについて、私なりの想いを申し上げます。

町長 加計呂麻島の中学校の統合問題については、当時の状況において、当事者である児童・生徒、また保護者や地域の中で、賛成・反対の両論がある中で、統合せず、現在に至っております。

町長 小規模校では、生徒一人一人にきめ細かな対応、指導が可能な反面、子ども同士が切磋琢磨する機会が乏しくなり、人間関係が固定化されてしまったりするなどの課題もあると言われます。



伊子茂小中学校

町長 以上が町長としての存在、あるべき姿であると私は想っております。

町長 安「まぼろし」と消えた「カケロマ中学校」についての現在の心境を伺います。

町長 私としても、小規模校の利点を活かしながら、課題の解決を図る上からも、「瀬戸内町教育振興基本計画」の基本目標である、「21世紀に生きる心豊かな人づくり」自ら学び、ともに磨き合い、地域（シマ）を興す人づくり」に向け、学校・地域・教育委員会と連携し、次の時代を担う子ども達が、それぞれの個性を活かし成長していくよう、力を注いでいきたいというのが私の現在の心境であります。

町づくり

# 柳谷議員 — 河川の雑草対策について

## 町長 — 要望箇所から計画的に



柳谷 昌臣 議員

町内の環境整備について

柳谷 町内の河川における雑草対策について伺います。

町長 町内の河川における雑草対策につきましては、町管理の河川は準用河川47河川・普通河川86河川・合計133河川と各集落に数多く点在しており、維持管理には苦慮しているところであります。

また、各集落では人口減少に伴う高齢化により河川の伐採等が難しい状況であることは認識しておりますが、今後も行政だけではな

く住民の方々の協力を得ながら維持管理に努めていきたいと考えております。

現状は、河川しんせん事業により要望箇所から計画的に土砂除去及び伐採を実施しており、今後も継続して参りたいと考えております。

柳谷 ボランティアだけでは出来ない箇所もあります。保育所・幼稚園・小中学校・高校の通学路にも面しております。

例えば、年1〜2回業者に委託する考えはないでしょうか。

建設課長

河川の伐

採につきましては、要望等がある時に現場を確認しまして、建設課でしたり、業者に委託して伐採を行っております。

今後につきましては、河川や道路の伐採要望等が多くあり、予算確保してまいりま

DX推進について

柳谷 先日、本町はデジタル未来宣言を致しました。

DX（デジタルトランスフォーメーション）については役場内全課局に関係してくると思われませんが、このDXを取り入れる経緯と、期待される効果について伺います。

町長 DXとは、直訳するとデジタル変革という意味であります。

DXを取り入れる経緯につきまして

は、本町においても、2050年問題を見据え、急速な少子高齢化の進展等への対応や住民の幸せな未来のために行政・住民が一体となりデジタル理解を深め、デジタルを活用し、人々の生活をより良いものへと変革する必要

があることから瀬戸内町デジタル未来宣言により、DXを推進することを宣言したところであります。

次に、DX推進により期待される効果としては、「住民サービスの向上」として、住民が窓口に来なくても行政手続きができるオンライン化、「教育」として、デジタル化に適應できる「未来を担う人材育成」、「行政運営」としてデジタルを活用した業務の効率化による「持続可能な行政運営」が期待される

ところであります。

今後は、DXフェローの提言等を受けながら、各業務においてDXを推進してまいります。

柳谷 DX推進を踏まえた上で今後の組織づくりについては、どの様にお考えでしょうか。

町長 DX推進については全課で取り組む事が重要になると思いますが、行政・住民が一体となりデジタル化に対する理解を深めなければなりません。具体的な仕組み作りも様々な課題がある中で進めていかなければならないと思っております。

そして自身がデジタル化への理解とリーダーシップをもって推進していくことが求められると思っております。

その上で組織として人材育成が大事であります。行政運営をして

いく中で町民に寄り添った行政運営・町民視点での行政が大事だと思っております。町民との直接的なふれあいも大事になりますので、しっかり対応できる人材の育成が必要だと思っております。



年末美化作業での河川清掃作業風景



包括協定

# 永井議員 — 町が協定を結んでいる企業の役割

# 町長 — ノウハウや最新技術を町に取り入れ住民サービスを向上

町長 政策顧問については瀬戸内町の政策全般についての助言を頂き、職員の業務についての個別相談等を行っている。創生プロモーターについては本町が行う将来にわたって誇りが持てるまちづくりの実現に向けた様々な

「瀬戸内町」が協定を結んでいる企業の役割について  
永井 政策顧問や創生プロモーター、包括連携協定を締結している企業は瀬戸内町にとって、それぞれの様な役割をしているのか、詳しく伺いたい。

「瀬戸内町」が協定を結んでいる企業の役割について



永井 しずの 議員

取組みに対し、国内外において幅広いネットワークを持ち、且つ広い視野や知見からご意見及びご助言を行っていただける方を委嘱している。包括連携協定企業は、本町だけでは解決できない地域課題に対し、民間企業や大学等と協力しながら解決を目指すため、包括連携協定を締結し、民間企業等が持つノウハウや最新技術を町に取り入れることで住民サービスの向上に役立つ

ている。

せとうち海の駅の活性化について

永井 地域活性化企業人制度の活用が進捗状況を伺いたい。

町長 現在、指定管理も含め民間事業者との意見交換を通じ、海の駅に対して様々なアイデアや意見を把握する為の調査を実施している。

行政情報の町民への周知方法について

永井 ホームページ、広報紙の他にラジオ放送を利用する計画はないか伺いたい。

町長 広報紙・ホームページを中心に各種SNSでも情報発信している。FMラジオ放送については各課からの依頼に応じて随時行政情報を知らせているほか、「ラジオでお伝えする広報せとうち」の番組でもお知らせしている。

おり、今後も活用していく予定である。

永井 毎週各課が輪番で仕事の内容や町民へお願いしたいことなど伝えてはどうか。

企画課長 せとらじと別の契約を交す必要があるので協議して検討したい。

ど無いか伺いたい

町長 現在スマートフォンを活用し、24時間いつでも利用できる環境にて運営を行っている。また利用者に対し、アンケートを取りウェブ上でリアルタイムに役場・指定管理者と共有することで、利用者の利便性向上などが随時図られるよう、工夫している。

「すこやか福祉センターHUB」の利用について

永井 利用時間の制限など現在の利用状況を鑑みて、変更する点はないか

永井 深夜など利用者が居ない場合、節電を考えても良いのでは。企画課長 今後の検討課題としたい。



せとうち海の駅

せとうちラジオ放送



すこやか福祉センター HUB

子育て

## 福田議員 — ひかり幼稚園の進捗について

### 教育長 — 円滑な移管に向けて進めています

子育てについて

福田 R5年度より町営となるひかり幼稚園についての進捗についてお尋ねします。

教育長 信愛幼稚園の

公立移管につきましては円滑な移管に向けて、推進委員会やプロジェクトチームを中心に組織・体制のあり方や事業運営、移管事務等について協議・手続きを進めており、先月には、信愛幼稚園の保護者向けに、主な変更内容や入園手続きに関する説明会を実施いたしました。今後は、県



福田 鶴代 議員

への設置申請や給食、預かり保育事業等の実施に向けた施設改修を進めてまいります。

福田 ひかり幼稚園の長期休みの預かり保育事業は、どのようなものかお尋ねします。

教育長 夏・冬・春の

長期休みの預かり保育事業については、これまで子育て支援事業所が公共施設等を活用して実施していましたが、公立移管後は、附属幼稚園と同様に、ひかり幼稚園内において実施する予定となっております。具体的には、土日祝日を除く平日の午前8時15分から午後

6時まで実施し利用料は保育の必要性に応じた軽減措置があります。が、半日利用で400円、1日利用で900円となっております。



医療福祉について

福田 へき地診療所の入院再開の進捗と、いつまでに、どのような対策を講じて入院再開を目指すのかお尋ねします。

町長 医療福祉につい

てのへき地診療所の入院再開についてであります。現在のところ、目途は立っていない状

況であります。先ずは、町独自の常勤医師を確保した上で医療体制を整え、病床復活を目指したいと考えております。

福田 第一期マニフェストに掲げていた、小児科・産婦人科の整備についてお尋ねします。

町長 本町における妊

娠から出産の支援といまして県立大島病院の産科医によります定期検診をへき地診療所において実施しておりますが、コロナの影響によりまして昨年度から中断している状況であります。今後、コロナの状況を勘案しつつ、検診の再開に向けて取り組んで参りたいと考えております。

障害福祉サービスについて

理由についてお尋ねします。

町長 平成21年度から貸し付け契約を児童発達支援事業所「こころ園」と交しており、今回も令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間、貸付契約を締結しておりますが、児童発達支援事業所の「こころ園」側から今回の契約をもって、サービスの提供を終了する旨の報告を受けており、閉園する理由については、経営が困難であるというのを聞いております。

福田 令和6年度より新たに運営して下さる児童発達支援事業所の公募についての進捗をお尋ねします。

町長 今年度中に募集を行い新たな事業所を確保し、保護者に安心していただけるよう進めていくところであり

福田 現在運営している児童発達支援事業所が令和5年度で閉園す

福田 新たな児童発達支援事業所が決まった場合、瀬戸内町としてはどのような体制で支援されていくお考えなのかお尋ねします。

町長 「町としての支援についてはありますが、事業所だけでなく保護者とも連携を図り取り組んでいきたいと考えております。



行政改革

# 岡田議員 行政改革について

## 町長 行政DX推進とBPRにより業務改善等に繋がりたい



岡田 弘通 議員

### 行政改革について

岡田 社会情勢も大きく変動し、変革の時代になってきていると思います。

行政運営についても、今後の状況に対応すべき行政運営の在り方について検討すべきと思うが、次のことについて、町長・事務改善審議会長の考えについて伺います。

町長 行政改革推進室（仮称）等及び行政改革（仮称）等及び行政改

革審議会の設置につきましては、現時点で考えておりませんが、行政改革の一環としてのDX推進において、専門的な知見を有するDXフェローの提言等を踏まえながら、DXを確実に推進するための体制についても今後検討してまいります。

岡田 公共施設の指定管理者による管理運営及び民営化についての考えについて伺います。

町長 行政サービスにおけるコスト削減や質の向上が期待される一方で、ノウハウのある民間事業者が存在する

ことが前提であることや、指定管理者が短期間で撤退しない保障が無い等の問題もあり、現在は2施設への指定管理に留まっております。

対策について伺います。町長 現在ふるさと納税の返礼品については、サイトの拡充や品数など順調に推移しているものと認識しております。

また、業務委託先の奄美せとうち地域公社により、事業者の返礼品登録や掘り起こし、新商品の提案など瀬戸内町の特徴を活かした商品開発を随時進めてまいります。

町長 行政改革として何ができるのかを見極めるために令和5年度にBPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）として、全庁業務量調査を実施したいと考えております。その調査結果を分析し、業務改善等に繋がりたいと考えております。

6次産業化と関連した商品開発の支援としては、近隣市町村の取り組み事例の紹介やアドバイザーによるセミナーの開催を予定しており、地場産品の積極的な活用を期待しています。

### ふるさと納税について

岡田 返礼品の特産品開発及び魅力ある商品開発の支援の現状と今後の開発に対する支援



振興対策

池田議員 — 観光産業の振興対策について

町長 — 5つの基本指針を設定しています



池田 啓一 議員

観光産業の振興対策について

池田 観光産業に於いて、基本的な町の在り方をどう考えているか。

町長 本町の目指す将来の姿として、「見て・知って・触れて…きつと好きになるまち・せとうち」を基本理念とし、実現するために5つの基本指針を施っています。

① 「せとうち魅力づくり」 本町の自然・景観・人、食、イベント、祭事、名所、旧跡、文化、伝統技術の地域資源（素材）を掘り起こし、観光資源として磨き上げる。

② 「情報発信とプロモーション強化」 SNSを活用し、旅行者が行動するタイミングで役立つ情報を入力出来るようにする。発地側での広告宣伝、誘客促進のプロモーションを行うとともに、着地側では、本町での過ごし方、楽しみ方を提案する。

③ 「受入基盤・環境の整備」 シマの暮らしと文化と自然との共存を図り、旅行者が地域とふれあえる場・機会を整備する。安心して、楽しんで観光できるようにワンストップ窓口を整備する。

④ 「おもてなし人材の育成」 住民の我が事意識、おもてなし意識を醸成するとともに、本町の魅力・価値を伝えるガイド、インストラクターの確保、育成を図る。

⑤ 「せとうち観光の推進力の強化」 観光ガイドやインストラクター、U・イーターン者、地域の若者、交通事業者、商工会等を中核メンバーとし、本町の観光推進体制を構築する。中核メンバーは行政、地域の事業者、住民と協働し、観光施策を実施する。また、島内各関係機関とも方向性を共有し、本町の観光が持続的に発展していくためのマネジメントを行う。

池田 地場産グルメリュック（観光メニュー）、宿泊施設・IT技術等、観光産業の環境整備は大事な事ですが、現況と今後について考えているか。

町長 現在、コロナ前の令和元年度に比べ、観光客は、8〜9割近く戻ってきているのが現状です。また、昨年の奄美世界自然遺産登録により、更に、交流人口は増加するものと思われます。現況としましては、依然として宿泊施設の不足による通過型観光となっていることです。

池田 本町における海上自衛隊の拡充計画の進捗状況は。

海上自衛隊の拡充について

池田 このことに対しての町の考えは。

町長 近年の南西地域における安全保障環境の大きな変化などに伴い国も防衛力の強化や抑止力の維持に向け、取り組んでいると考えられます。このことなどを踏まえ、今後、計画されている適地調査等については、全面的に協力していきたいと考えています。

人口対策

# 泰山議員 — 人口対策について

## 町長 — 公約のあり方



泰山 祐一 議員

人口対策について

泰山 志光の高い若者からこんな話がありました。

「泰山さん、事業を拡大しようと求人募っても、地域で働いてくれる方がいない。その中で事業を拡大するまできかないので他の市町村へ引っ越さないと自分の夢を叶えられないかもしれない」とそんな声もあります。自分自身もその声を聞いてそれに対して政治で何かできないか歯がゆさを感じます。その中で困っている、そ

の夢を実現していききたい、様々な想いをもたれている町民の方たちのやはりお気持ちも汲んで、どんどん挑戦できるような町であってほしいなと思っております。だからこそ人口対策は喫緊の課題だと思っておりますけれども、町長自身も「人が輝く夢と希望に満ちた魅力あるシマ」を実現していこうと、次の世代を担う世代に自信と誇りをもって引き継ぎたいと心強い出馬表明も先日ありました。私自身もそんなシマになっていただきたいというふう

に思っております。今人口一万人の話をさせて頂いておりますが、計画自体は公約ということでお話をさせて頂いておりましたが、公約というものがいつまでに達成するものが公約といえるのかどうか。何でもかんでも公約といつて、「期間は分かりません」というのがありなのかどうか。教えていただけますか。

いうことも中にはあると私は思っています。泰山 どうでしょうね。私であればですけども、人口一万人を目指していくのであれば、今いる転出転入の社会増減や自然動態指数などもマーケティングのような形で調査をして、どれだけの受け皿を作ればいいのか。どれだけの不動産の投資が必要なのか。はたまた空き家の回収が必要なのか。そういった部分もちゃんとした計画を立てていけば、自ずと見えてくると思うんですよ。そういった部分をロードマップをしっかりと引いてあげて、その中でしっかりと当局内で協議をしていただく。

清水文化スポーツ村構想について  
泰山 現在進行中の清水文化スポーツ村完成までの総事業費はいくらを見込んでいるのか、お尋ねします。

町長 清水地区文化スポーツ村完成までの総事業費は、文化ホールに係る事業費を除いて、概算工事費で約50億となっております。泰山 柳谷議員が令和2年・3年にその時も50億円程かかるといって話がありました。今は値上げ等々があるかと思いますが、変わらぬ50億円程という認識でよかったですでしょうか。社会教育課長 その文化村スポーツ村構想の全体額を示した以降は金額をはじめていますので、その昨今の物価高騰を考えると、上がっているものと思えますが、掘り出している数字は50億円ということですか。

今年も、「議員と語る会」を令和5年5月に予定していますので、町民多数のご参加をお待ちしております。同封のアンケート用紙のご回答をお願いします。

日程等詳細につきましては、広報せとうち5月号に掲載予定です。

## まちの未来が見える

### 議会傍聴においでください

# 次回の定例会は3月中旬です

インターネットで生中継。瀬戸内ケーブルテレビの録画放送でもご覧いただけます

## 編集後記

視察に八千人の方が来るという五島列島の五島市にドローンとカーボンの件で行く。

八千人の視察というところに先ずはビックリ。

経済効果は多大なものがある。さすがに五島市は先進地である。人口減少対策にも早くから取り組んで結果を出している。

特に衝撃的だったのは洋上風力発電である。三千屯の重さの風力発電本体を海に浮かべて電力をカバーするという発想が凄い。既に一基完成し合計八基で二百億の事業だということであった。このような事業をいち早く持つて来れる情報収集力は見習うべきである。カーボンゼロにしても電気自動車を導入し充電施設も各地にある。全てにおいて勉強になった。ドロー

ンについては既に民間会社が始動しており風雨に強い時速百キロという飛行機型のもので飛んでいた。出発の方法やパラシュートでの配達、着陸の仕方などはとても参考になった。五島市は人口三万五千人の広々とした市で朝ドラの印象とは違う大都市でした。空港にも近く交通の便も良く活気あふれる市でした。我が瀬戸内町も地元の良さを生かして頑張らねばという気持ち強くした次第。

### 議会報編集委員会

委員長	元井 直志
副委員長	泰山 祐一
委員	福田 鶴代
委員	柳谷 昌臣
委員	池田 啓一
委員	向野 忍
委員長	順一